

シラバス

教科名	家庭	学年	3 学年
-----	----	----	------

目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な知識について理解し、それらに係る技能を身に付けることができる。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けることができる。 (3) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けることができる。
学年の目標	生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な知識について理解し、それらに係わる基礎的な技能を身に付けることができる。 家庭の生活課題に目を向け、解決策や適切な対応について主体的に考え、表現する力や生活を工夫しながらより良い生活を送ることができるよう、自ら実践する態度を身に付けることができる。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 (10 11)	6	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・住生活について	【知識及び技能】 ・家族の生活と住空間との関わりについて知ることができる。 ・住居の基本的な機能と役割・働きについて知ることができる。 ・賃貸契約や住居の維持、管理に関わる経費について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・家族（乳幼児～高齢者）の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、表現することができる。 ・様々な情報から必要な情報を取捨選択し、適切な行動について考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の生活文化（伝統的な住宅や住まい方に見られる様々な知恵）を継承しようとする態度を身に付けることができる。	☐ 住生活 ☐ 住生活について考える ①住居の機能とライフステージによる変化 ②住居の役割と働き ③住居の間取り ④乳幼児や高齢者のいる住環境での工夫と配慮、注意点について ☐ 住生活の計画と選択 ①安全で快適、健康な住生活 ②住生活に必要なこと（整理整頓、住居に関わる経費など） ③賃貸契約に必要なこと [日生：整理整頓] [社会：国や社会の仕組み] [数学：金銭管理] [総合：災害時の対応]	【知識・技能】 1 段階：住居の基本的な機能と役割について知ることができる。 2 段階：住居の基本的な機能と役割について知り、賃貸契約の仕組みや住居の維持、管理の方法について知ることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：安全や快適さを考えた住居の適切な整え方について考え、表現することができる。 2 段階：様々な方法から、場所に合わせた適切な管理、清掃方法などを判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：日本の伝統的な生活文化に触れ、日常生活の様々な住環境について意識することができる。 2 段階：日本の伝統的な生活文化について理解し、維持、継承するために必要な行動について考えることができる。
					評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、実技
6 7 (12 1)	6	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・衣生活について	【知識及び技能】 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用など適切な着用方法について知ることができる。 ・衣服の適切な選択、管理、購入などについて知ることができる。 ・目的に応じた縫い方や用具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用することができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・衣服の選択における様々な情報や観点から考え、状況などに応じた衣服の工夫や手入れをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の生活文化（伝統的な衣服、地域の特性を生かした衣服）を継承しようとする態度を身に付けることができる。	☐ 衣生活 ☐ 冠婚葬祭のマナー ①T P O に応じた服装とマナー ☐ 衣服の管理 ①日本の伝統的な衣服と地域性 ②衣服の適切な管理、購入など ③衣服の手入れ ④乳幼児、高齢者の衣服の特徴 [社会：日本の歴史] [社会：社会参加ときまり] [数学：金銭管理]	【知識・技能】 1 段階：衣服と社会生活の関わりについて知り、目的に応じた適切な着用方法について知ることできる。 2 段階：目的に応じた適切な着用方法について理解し、選択、管理、購入などの必要性について知ることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：目的や所有量、値段など様々な情報から判断し、適切な衣服の選択について考えることができる。 2 段階：TPO に応じた服装とマナーについて理解し、状況に応じた衣服について考え、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：日本の伝統的な生活文化に触れ、地域の特性に応じた衣服の特徴について考えることができる。 2 段階：日本の伝統的な衣服と地域の特性について理解し、維持、継承するために必要な行動について意識することができる。
					評価方法：授業態度、 出席、プリント課題、 実技

7 8 (1 2)	14	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・食生活について	【知識及び技能】 ・日常生活と関連付け、用途や目的に応じた食品の選択、材料に適した加熱調理の仕方などについて知り、基礎的な日常食の調理ができる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理ができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 ・基礎的な日常食の調理について、適切な食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の生活文化（行事食や郷土料理、地域の特産物を生かした食文化）を継承しようとする態度を身に付けることができる。 ・生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度を身に付けることができる。	□食生活 ○食生活の安全と衛生 ①食品の選択、購入と保存 ②食生活の衛生と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ①栄養バランスのよい食事 ②生涯を通じた食事計画（健康面、金銭面など） ③乳幼児の食事 ④高齢者の食事 ○調理実習 ①加熱調理の方法（焼く、炒める、煮る、炊く） ②バランスの良い献立 ③調理器具の適切な管理 ④ごみの適切な分別と処理方法 〔社会：環境と私たちの生活〕 〔総合：環境問題〕 〔数学：計量〕 〔国語：読む〕 〔保健：健康〕	【知識・技能】 1段階：材料に応じた適切な調理方法について知り、基礎的な日常食の調理をすることができる。 2段階：安全や衛生面を考えながら、食材に応じた適切な調理方法で、基礎的な調理をすることができる。 【思考・判断・表現】 1段階：適切な食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。 2段階：健康によい食生活について考え、表現し、献立や調理方法を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：日本の伝統的な食文化に触れ、食を楽しみ、豊かにすることの大切さに気付くことができる。 2段階：日本の伝統的な食文化に触れ、郷土食や地域の特産物について意識し、日常生活に生かすことができる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技
8 9 (2 3)	9	〔家族・家庭生活〕 〔衣食住の生活〕 〔消費生活・環境〕 ・経済生活について ・環境について	【知識及び技能】 ・収入と支出の関係が分かり、計画的な金銭管理の必要性について知ることができる。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とそれらに対する適切な対応について知ることができる。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して適切な購入について考え、判断し、表現することができる。 ・自立した消費者として責任ある消費行動について考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとする態度を身に付けることができる。 ・持続可能な社会の構築を目指し、環境に配慮した望ましい消費行動をしようとする態度を身に付けることができる。	□経済生活 ○職業生活を設計する ①経済的に自立する ②乳幼児の養育にかかる経費と支援制度 ③高齢者を支える公的制度と経済生活 ○計画的に使う ①収入と支出を知る ②衣食住生活で必要な経費について ③適切な消費行動について ○現代の消費社会 ①契約について ②消費者の権利と責任 ③消費者をめぐる問題とその対処法について 〔社会：消費生活〕 〔社会：国や社会の仕組み〕 〔数学：計算〕 □学習内容の確認、振り返り ①3年間のまとめ	【知識・技能】 1段階：計画的な金銭管理の大切さと必要性について知ることができる。 2段階：売買契約の仕組みについて知り、消費者の権利と責任などについて知ることができる。 【思考・判断・表現】 1段階：物資・サービスの選択に必要な情報を活用し、適切な購入行動について考え、判断することができる。 2段階：自立した消費行動について知り、適切な行動について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：環境に配慮した消費行動について知り、望ましい行動について意識することができる。 2段階：環境に配慮した消費行動を理解し、日常生活で意識して自分のすべきことを考えることできる。 評価方法：授業態度、出席、プリント課題、実技